

『サルコイドーシス・過敏性肺炎患者における 抗GM-CSF抗体測定の意義に関する検討』 に関する患者様、御家族の皆様方へ

当院では、『サルコイドーシス・過敏性肺炎患者における抗GM-CSF抗体（Anti-granulocyte-macrophage colony-stimulating factor autoantibody）測定の意味に関する検討』という調査、研究を行っています。サルコイドーシスや過敏性肺炎において抗GM-CSF抗体値が高い方の割合や臨床的特徴を明らかにすることがこの調査、研究の目的です。

<調査の対象となる患者さま>

2003年6月から2017年12月までにサルコイドーシス・過敏性肺炎と診断され血清保存された患者さま、1997年7月から2016年9月までに自己免疫性肺胞蛋白症で血清保存された患者さまが対象です。

<調査方法>

「各種びまん性肺疾患に対する新たなバイオマーカー開発とコホート研究および診療支援」という研究で既に同意を得て保存されている血清検体を用いて抗GM-CSF抗体を測定します。また、患者様のカルテ等をもとに症状、治療内容、各種検査所見の調査を行います。患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせ下さい。この研究へのデータ利用を希望されない患者様、ご家族の皆様は、下記までお申し出下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180
国立病院機構近畿中央呼吸器センター
TEL: 072-252-3021、FAX: 072-251-1372
内科 片山加奈子
臨床研究センター 井上 義一(研究代表者)

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認を受けて実施しています。

(当院ホームページに掲載)